

常陸太田市教育委員会定例会（12月）会議録

- 1 日 時 平成29年12月25日（月）午後4時50分
- 2 場 所 市民交流センター大会議室
- 3 出席者 教育長 中原 一博
教育長職務代理者 中村 和幸
委員 大金 隆子
委員 稲田 昌孝
委員 安西 仁人
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局職員 教育次長 生天目 忍
教育総務課長 綿引 久雄
指導室長 西連寺 有
生涯学習課長兼生涯学習センター館長 関 勝仁
文化課長 大畠 敬一
スポーツ振興課長 木村 久男
図書館長 大久保 佳明
学校給食センター所長 増山 泉
- 6 会議録署名委員 大金 隆子 委員
- 7 議 案
なし
- 8 諸般の報告
 - ・平成29年第5回市議会定例会（12月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について
 - ・教育委員会行事等について
- 9 閉 会 （午後5時20分）

教育長

午後4時50分、ただ今から教育委員会12月定例会を開会します。出席者ですが教育委員全員出席です。事務局職員についても全員出席です。会議録署名委員は稲田昌孝委員にお願いします。

それでは、本日の日程ですが、次第にありますように本日は議案がございません。諸般の報告ということで、過日の市議会定例会、12月定例会の教育委員会関係に係る一般質問要旨・答弁要旨について報告いたします。教育次長よりお願いします。

教育次長

それでは、資料をご覧ください。12月市議会一般質問ですが、教育委員会関係では6人の議員から質問があり、答弁しております。

まず、川又照雄議員です。エコミュージアム活動について質問がありました。

今年度のエコミュージアム活動の状況は、新たな地域資源探索活動への取組に4地域、継続が2地域、地域資源の整備・保全活動への取組をしているのが4地域、自然体験やハイキング、伝統行事などによる交流活動に取り組んでいる地域が12地域、てくてくウォークを実施した地域が9地域となっている。地域資源情報の活用については、これまでも地域資源の整備活動を実施した地域においては、資源に解説板や誘導板を設置し、さらにその所在を示す案内板を設置するとともに散策マップを作成して、駅や市庁舎、道の駅等で配布し、市民等に周知を図っているところである。また、てくてくウォークにおいては、掘り起こされた資源を町会と協議を行いながら決定し、広報ひたちおおたに散策マップとして掲載しているところである。いずれの散策マップも個別に作成しており、地域資源を総合的に周知するには至っていないことから、てくてくウォークの散策マップを編集した冊子の作成を検討していきたいと考えているとの内容で答弁をしております。

次に藤田謙二議員です。魅力ある市街地の整備ということで鯨ヶ丘地区の歴史を活かした景観の形成に係る質問がありました。これについては、

鯨ヶ丘地区には、梅津会館をはじめ駿河屋宮田書店店舗及び土蔵、旧稲田屋赤レンガ蔵などの建造物4棟が国登録有形文化財として登録されている。休日などには、それら国登録有形文化財の建造物や歴史的雰囲気を目当てに市外からカメラ片手に鯨ヶ丘地区の街歩きや梅津会館の企画展を楽しむ方の姿も見られる。今後、歴史ある鯨ヶ丘地区の景観形成に重要な梅津会館を中心とし、歴史的価値のある建物についても活用できるよう準備を進めていく旨の答弁をしております。

次に木村郁夫議員です。木村議員からは安心安全な給食の提供について、奨学金制度の充実について、スポーツ施設の安全について、3項目の

質問がありました。

これについては、地産地消による安全な農産物の使用状況について、主食であるご飯は週当たり3回半出しており、常陸太田市産コシヒカリを使用していること。パンについても、月2回常陸太田市産のコシヒカリ米を製粉した米粉を使用した米粉パンを提供していること。野菜類についても、長ねぎ、きゅうり、玉ねぎ、ジャガイモ、大根、キャベツ、白菜などを中心に常陸太田市産を使用している旨の答弁をしています。

常陸太田市産で賄える食材の地産地消率では、平成27年度51.1%、28年度は52.9%となっており、野菜においては27年度が25.7%、28年度が23.9%と1.8%下がっている。今後は、JA常陸や納入業者に、できるだけ地元産野菜の納入増加を働きかけるとともに、関係部署と一層連携を図り、食材が提供可能な栽培農家の確保に努め、地産地消の食育の観点からも安定的に地元野菜を給食センターに納入していただけるよう推進していく旨を答弁しております。

給食センターの調理機器の安全管理体制については、毎朝朝礼を行い、調理機器の始業前点検、終業時点検を実施するとともに、週末には班ごとに総点検を行いその結果を申し送りしている。また、業者による調理機器の保守点検を年に2回実施し、安全管理の徹底を図っている旨の答弁をしております。

給食センターの主な調理機器の数については、野菜洗浄機、高速度ミキサー、さいの目切機、連続揚物機、連続焼物機、蒸(じょう)煮(しゃ)冷却機(れいきゃくき)が各1台、球根皮剥機(きゅうこんかわむきき)(ピーラー)、フードスライサー、蒸煮機が各2台、大釜を8台設置している。調理機器の多くはメーカー部品供給保証期間を過ぎている現状にあるが、専門業者による保守点検を実施しており、安全に調理が行えるよう対応している旨の答弁をしております。

2点目に奨学金制度の充実について質問がありました。これについては、直近3年の年度別新規貸与人数については、平成27年度、大学等が20人、平成28年度、大学等が12人、平成29年度、大学等が17人・高等学校が1人となっている。また、平成29年度現在、貸与中の人数については57人となっており、その内訳は、大学生等への貸与が56人、高校生への貸与が1人であること。じょうづるさん奨学金助成制度の利用状況については、平成28年度に人口減少・定住促進対策の一環として創設した制度で、昨年度、市内に居を構え、他市町村の事業所に勤務している3名の方から申請を受けていることを答弁しております。

奨学基金残高については、平成27年度末では2億3,188万3,589円、

平成 28 年度末については 2 億 3,190 万 6,513 円となっており、預金利子分による 22,924 円の増額, 比率にしておよそ 0.01%の増額となっている。この額を財源とし、奨学金の貸与を行っている旨の答弁をしております。

3 点目としてスポーツ施設の安全について質問がありました。これについては、野球場を含む各球技施設に対する防球ネットの高さ基準はないが、公益財団法人日本体育施設協会発行の「屋外体育施設の建設指針」では、野球場の防球ネットについて「一般的にバックネットの延長上に外野席に向かって高さ、3メートル程度の防球柵を設ける」とされており、この3メートルを標準とし、施設の周辺環境に合わせ高さを設定することが一般的となっている。当市のグラウンドも、3メートルを標準として、周辺の環境等を考慮し、実態に対応した防球ネットを整備しているという内容で答弁をしております。

次に森山一政議員です。久慈川サイクリングコースに関連して、久慈川サイクリングコースの現状について2点の質問がありました。1点目は久慈川サイクリングコースの現状について、2点目は道の駅ひたちおおたとの連携によるさらなる活性化について、の質問でありました。久慈川サイクリングコースについては、昭和 40 年代後半に日立市留町から常陸太田市大方町までの久慈川・山田川の堤防天端及び堤防下を利用して 16. 2 キロメートルが設置され、定期的な除草と破損個所の補修、洪水等でコース上に堆積した土砂の撤去等の維持管理を行っているところである。道の駅ひたちおおたとの連携による更なる活性化については、「道の駅日立おさかなセンター」、また、当市の「道の駅ひたちおおた～黄門の里～」を活用した周遊コースの研究等、関係機関と協議を進め、地域の活性化につながる方策を検討していく旨の答弁をしております。

次に深谷渉議員です。深谷議員からは学習指導要領改訂に関連して、5 点の質問がありました。

小学校・中学校の学習指導要領の改訂のポイントは、従来行われてきた道徳を、いじめの問題への対応の充実や児童生徒の発達段階をより一層踏まえた体系的なものにするために「特別の教科 道徳」として位置付けられたこと。また、グローバル社会の進展から、外国語によるコミュニケーション能力の必要性が高まり、小学校では3、4年生に外国語活動が新設され、5、6年生においては、これまでの外国語活動が外国語科として教科化されること。また、情報化社会への対応からコンピュータ等を活用したプログラミング教育など、探究的な活動の充実を図るための活動も重視されていることについて答弁しております。今回の改訂に関するスケジュールとしては、小学校は平成 32 年度、中学校は平成 33 年度に新学習指

導要領が全面実施される。それに向けて、小学校では来年度から、3、4年生で実施する外国語活動の一部と5、6年生では、外国語科の一部、さらに、全学年で「特別な教科 道徳」を先行実施し、中学校では平成31年度から、「特別な教科 道徳」を先行実施することになっている。市教育委員会としては、国や県の動向を踏まえながら、各学校において円滑に実施するよう現在支援をしている旨の答弁をしております。

英語教育、プログラミング教育の本市の取組と新学習指導要領全面実施までの段階的取組については、本市では、外国語活動の充実を図るため、本市独自に採用している5名の外国語活動支援員や、中学校に派遣している4名のアメリカ人の英語指導助手、いわゆるALTを全小学校にも派遣しているところである。小学校では、来年4月から、5、6年生に外国語科、3、4年生には外国語活動がそれぞれ年間50時間と15時間で、一部先行実施される。本市のほとんどの小学校では、全教科の総授業時数は平成29年度と変わらずに実施する予定である。平成31年度からは、外国語科、及び外国語活動がそれぞれ年間70時間と35時間実施する予定であり、週当たり1時間の授業時数増となる予定である旨の答弁をしております。

小・中学生への、英語検定等の検定料の補助金の交付については、児童生徒が検定等に参加する際の目標や対象学年等についても研究するとともに、検定料の補助の在り方についても、今後も検討していく。

プログラミング教育の取り組み方については、プログラミング教育を推進していくために、各小・中学校に持ち運びができる児童生徒用タブレット型コンピュータや電子黒板等が必要となりますので、平成30年度から各学校で活用できるよう整備を進めるとともに、教員が、この指導を進めていけるように、教員の資質の向上を図っていく旨の答弁をしております。

最後に宇野隆子議員です。大きな項目として3項目から9点の質問がありました。新学習指導要領に関連しては、左記の深谷渉議員の質問内容と重複するところもあり省略いたします。次の質問、学校給食費の助成についてであります。給食費の無償化については、受益者負担の原則を踏まえつつ、助成策である市立幼稚園児の第3子以降の給食費を無償に、市立幼稚園児第1子、第2子の給食費を2分の1に減額、さらに、市立小・中学校の給食費を2分の1に減額することにより、子育てに必要な物品や学用品等の購入に充てていただけるよう子育て支援を図るため、当分の間この減額を行っていく旨の答弁をしております。3項目目の子どもの歯科保健についてであります。平成29年度の本市の児童生徒の歯科検診結果の

特徴としては、いわゆる虫歯のある児童生徒の割合が小学校で49.6%、中学校では35.5%で、5年前に行った検診結果と比較すると歯罹患率が大きく改善させている状況です。次に、歯科受診のケアの実態については、検診結果については、すべての児童生徒の保護者に通知しており、再受診や治療が必要である児童生徒については勧告を行っている。その結果、本年10月末現在で、永久歯のう歯の処置完了率、いわゆる虫歯の治療率については、小学校が56.6%、中学校が69.6%と、虫歯治療への意識が高まっているととらえている。

治療勧告した児童生徒のうち処置完了率については、小学生が57.3%、中学生が39.1%となっている。中学生については、なかなか治療をする時間が取れないでいる結果と考えられる。早期に治療が完了できるよう、各学校に対し指導していく。また、今後の口腔ケアの推進については、学校保健委員会や養護教諭が中心となって、さらに研修と保健指導の充実と、歯の健康に関しての家庭とのより一層の連携を図りながら、口腔ケアを推進するよう、指導していく旨を答弁しております。

以上です。

<p>教育長</p>	<p>ただいま、12月市議会定例会の一般質問に関して答弁内容の説明がありました。何か質問等はございますか？</p> <p>その他のことでも結構ですが、教育委員さんから何かありますか？</p> <p>なければ事務局から何かその他ございますか？</p>
<p>安西委員</p>	<p>給食費の未納はどのくらいありますか？またその対策はどのように講じていますか？</p>
<p>学校給食センター</p>	<p>平成28年度で1名、過年度で7名です。その対策ですが、学校を通じて未納者へ文書通知をして納入に結び付けているところです。過年度の未納については、児童手当から天引きにて納入するケースもあります。</p>
<p>教育総務課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度第1回総合教育会議について <ul style="list-style-type: none"> 日時 平成30年1月16日（火）午前10時 場所 市役所4階全員協議会室 案件 常陸太田市の学校教育における現状と課題について ・教育委員会定例会（1月）日程について <ul style="list-style-type: none"> 日時 平成30年1月25日（木）午後3時30分 場所 市役所分庁舎2階 教育委員会会議室 閉会 午後5時20分（所要時間30分）

